

レグストーン〈環境保全型ブロック:水平積み〉



●特長

1. 植物、生物にやさしい環境を提供

壁体内部の胴込め土砂と、ブロック一段ごとに設けられる溝部に覆土した土砂で、植物が繁茂できる場所と昆虫等が生息できる場所を提供できます。縦方向に連続した胴込め土砂は、毛細管現象によって高い保水力を発揮、植物の繁茂がより期待できます。

2. 練積構造

法勾配1:0.5に適応。縦方向に連続した胴込めコンクリートにより一体化した練積み構造ブロックです。

3. 施工性

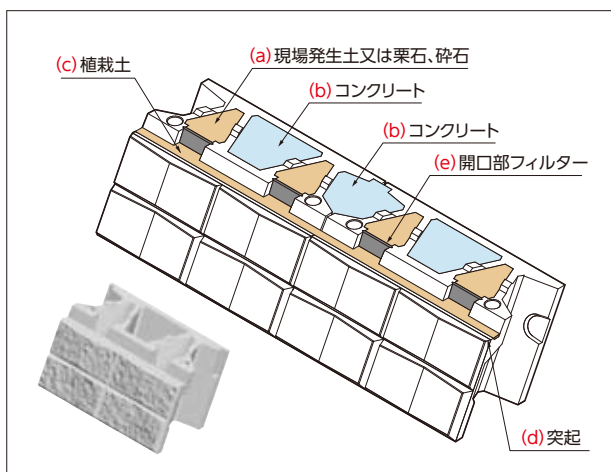
水平積み(1:0.5)で大型化(1㎡当り2個使用)されているため、施工性に優れています。ブロックはイモ積みが基本です。

4. 明度

ブロック表面の石目模様を更に特殊形状とし、周辺の明度に配慮した製品になっています。

平均明度
4.5

輝度の標準偏差
15



■用途

ブロックを下図に示すように組積みし、壁体内部に形成されるブロック中空部(a)に植栽土を、また、ブロック相互の中空部(b)にコンクリートを充填します。

(c)部に盛られた植栽土は、突起(d)により流失が防げます。また、開口(e)部には中詰め土砂の流失を防ぐため、フィルター等をセットします。

標準断面図

■胴込材の選定例

1. 河川に使用する場合

常時水中にある部分及び流水の影響を受ける部分までは、割り栗石または砕石を使用します。

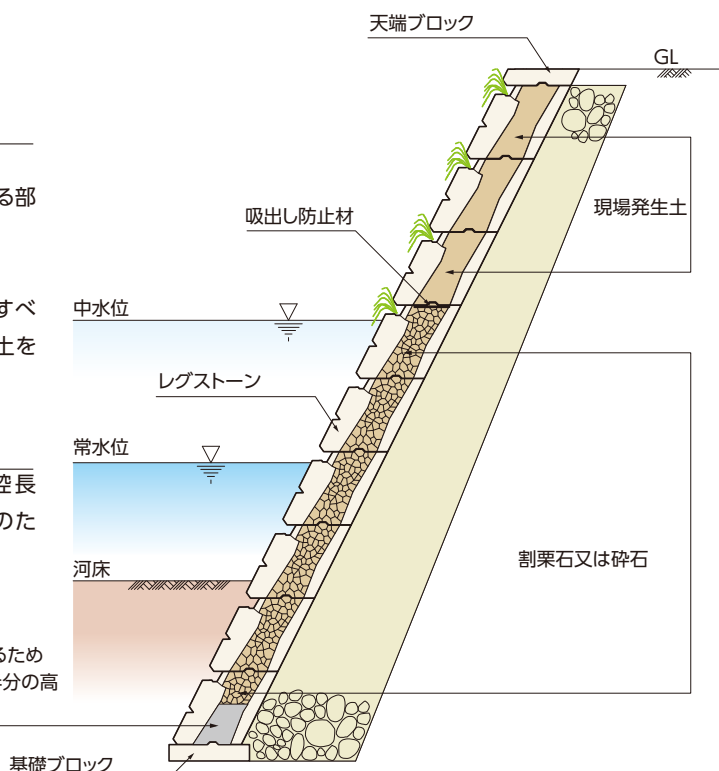
2. 道路・公園等を使用する場合

植生効果を促進する必要がある場合には、すべて植生土を使用します。植生土は現場発生土を使用することも可能です。

■安定検討について

レグストーンは、1㎡当たりの壁体重量が控長35cmのコンクリート積ブロックとほぼ同等のため、設計はブロック積擁壁に準じて行います。

※最下段ブロックには、基礎工との一体化を図るため胴込め材を入れる部分にも、コンクリートを半分の高さ程度充填してください。



基本形状図

形状・寸法
重量

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

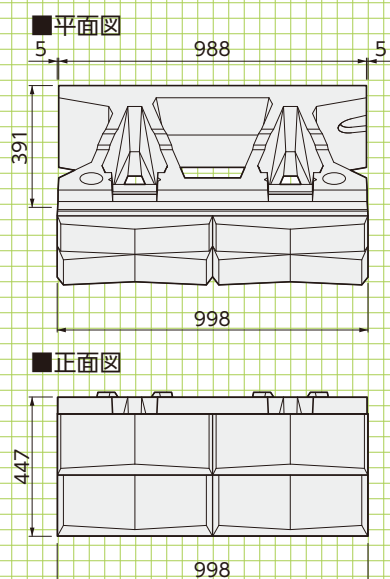
河川関連

貯水槽関連

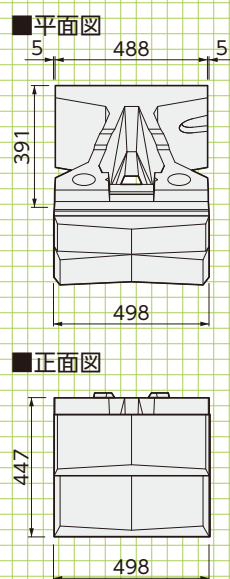
組合製品・その他

景観関連

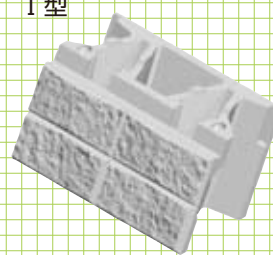
I 型 参考重量:225kg



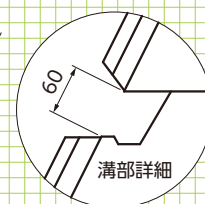
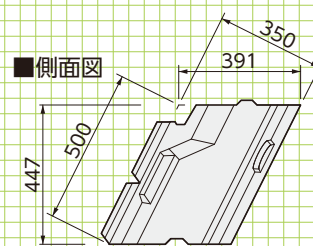
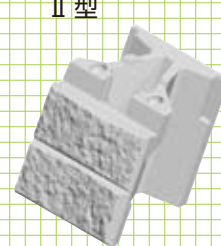
II 型 参考重量:112kg



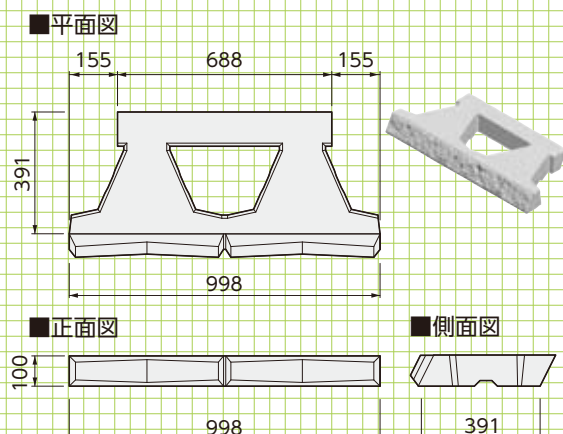
I 型



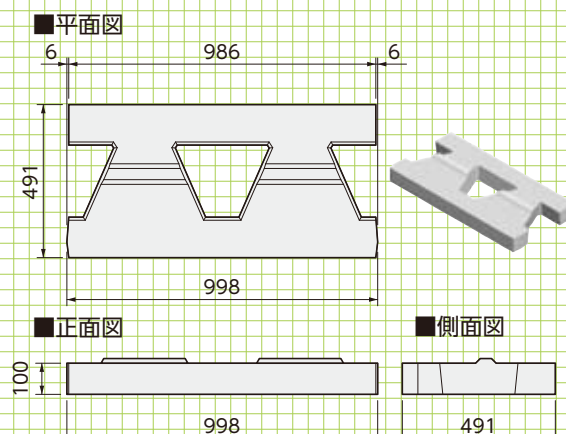
II 型



天端ブロック 参考重量:58kg



基礎ブロック 参考重量:87kg



■規格諸元

呼 称	参考重量 (kg/個)	胴込め土砂量 (m ³ /m)	胴込めコンクリート量 (m ³ /m)	使用個数 (個/m)
レグストーンI型	225	0.0408	0.1246	2
レグストーンII型	112	0.0408	0.1256	4

■規格諸元

呼 称	参考重量 (kg/個)	胴込めコンクリート (m ³ /m)	使用個数 (個/m)
天端ブロック	58	0.0142	1
基礎ブロック	87	0.0103	1

※天端ブロックの胴込めコンクリートは、現場状況に応じて変更してください。
 ※天端ブロックと基礎ブロックには端部用があります。



ヘキサゴン〈河川用積みブロック〉

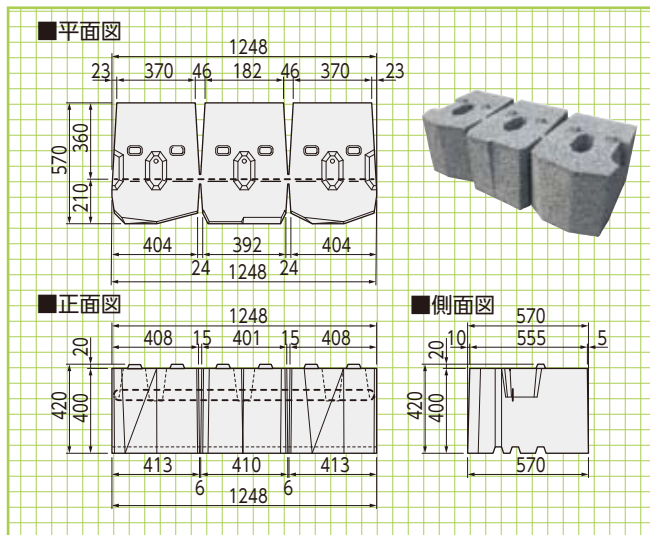
●特長

- 1.ヘキサゴンはレベル積みで安全に敷設でき、曲線施工も目地処理なしで簡単、空積は中詰も胴込めもない金具連結のみ超省力化施工ブロックです。
- 2.壁体質量はコンクリートブロック練積み以上を確保し、金具連結することで従来の空積みの弱点であったブロック間の一体性を増し、土圧や流体力に対する十分な安定性と壁体強度を確保しています。
- 3.上ポーラスコンクリートの多孔質と低明度・テクスチャー、柱状石を模した形状による深目地やポケット部により、植生基盤となる空隙や透水性・保水性による湿润環境を確保し、景観性や緑化機能、水際の生物の生息・移動空間を持つ多自然機能に優れたブロックです。できます。

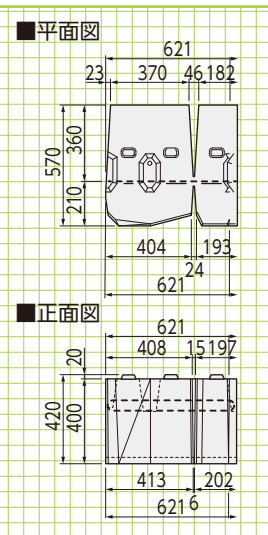


空積 基本形状図

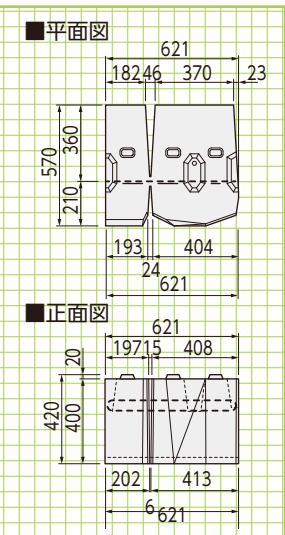
基本(空積)



1/2右(空積)

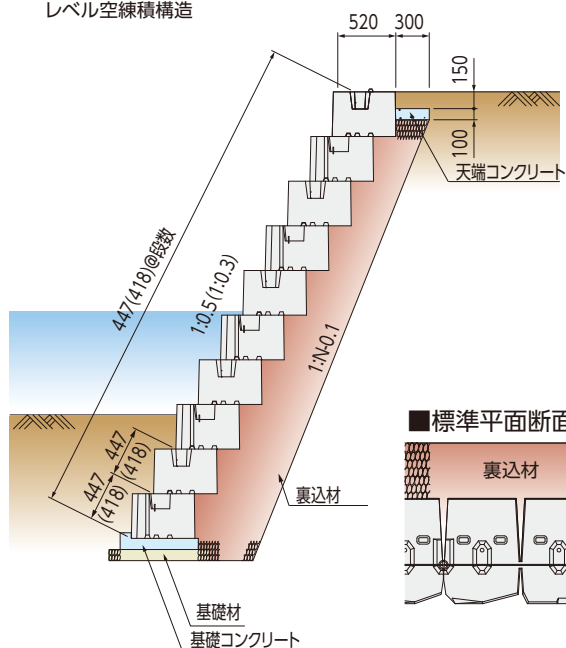


1/2左(空積)



標準施工断面図

レベル空練積構造



■寸法・重量表

呼 称	単位	基 本	1/2
外形寸法	mm	1248×高さ400×570	621×高さ400×570
製品体積	m ³	0.247	0.123
参考重量	kg	469	234
m ² 当り使用個数	個/m ²	1.79(1.91)	3.58(3.83)

- ブロック重量は強度・空隙率の適用範囲内で変動します。
- 標準的な施工の場合、ブロック1個に連結金具1個を使用します。
- ()内は1:0.3レベル積みの場合の数値です。



■参考歩掛り

(10.0m²当り)

呼 称	単位	数 量	備 考
一般世話役	人	0.08	
ブロック工	人	0.08	
特殊作業員	人	0.10	
普通作業員	人	0.20	
ラフテレーンクレーン	日	0.18	油圧式25t吊り
諸雑費	%	4	労務費×4%

●協会歩掛り



●ヘキサゴンは専用吊り金具で敷設して繋ぐだけの省力化施工。レベル積みで安全かつ簡単に施工できます。

●空積みは自重のみで十分な壁体質量を確保しているため、中詰材も不要です。



●三連の柱状石を模したブロックはその連結部で折り曲げることができ、法線に合わせてブロック自体を湾曲させて敷設することができます。自然な曲線に仕上げるすることができます。

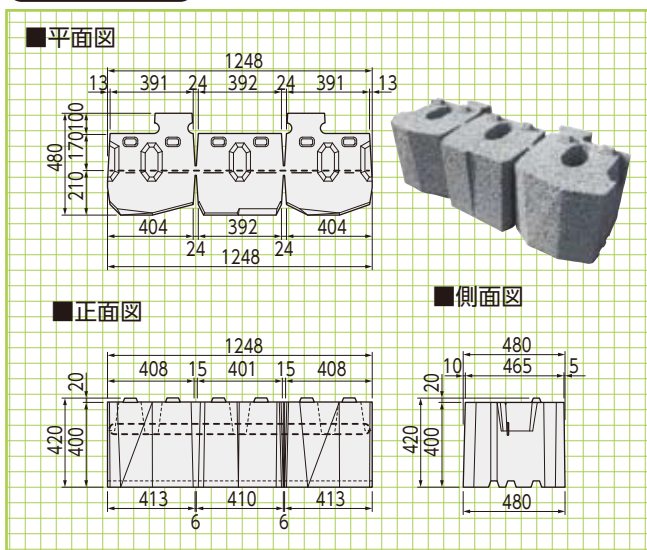
●内R半径5.0m、外R半径5.0mまで対応でき、曲線施工も目地処理なしで施工できます。



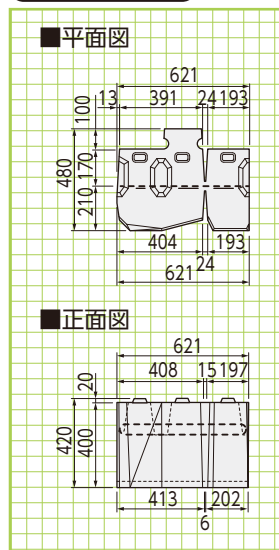
●ブロックを貫通している挿入筋の両端を専用の金具で連結し、延長方法を一体化させることができます。

●特に従来は空積みの弱点とされていたブロック間の一体性が格段に増し、土圧や流体力に対する抵抗性が向上しています。

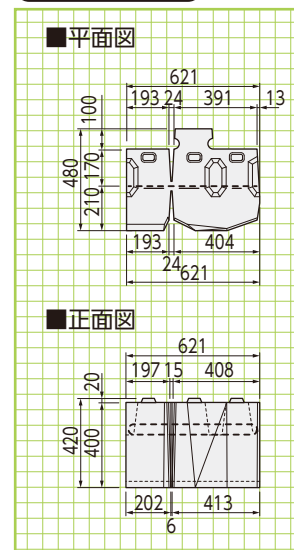
基本(練積)



1/2右(練積)

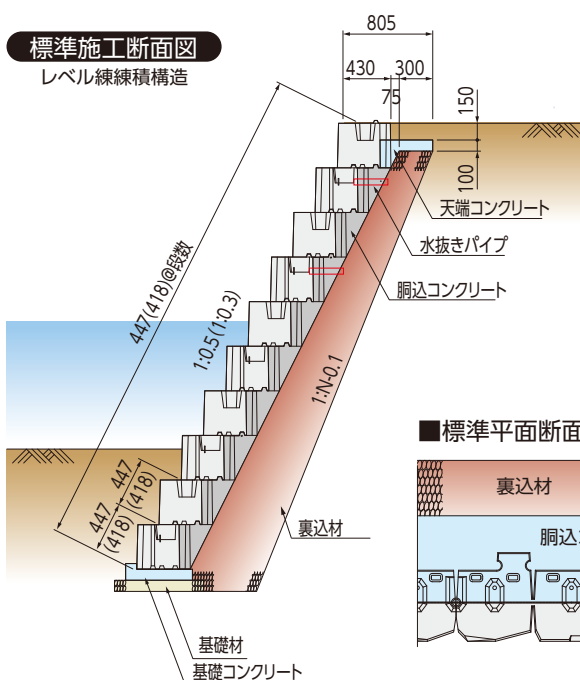


1/2左(練積)

練積
基本形状図

標準施工断面図

レベル練積構造



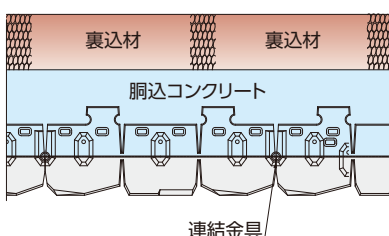
■寸法・重量表

呼称	単位	基本	1/2
外形寸法	mm	1248×高さ400×480	621×高さ400×480
製品体積	m ³	0.175	0.087
参考重量	kg	332	165
m ² 当り使用個数	個/m ²	1.79(1.91)	3.58(3.83)
同込コンクリート量	m ³ /個	0.042	0.021

- ブロック重量は強度・空隙率の適用範囲内で変動します。
- 標準的な施工の場合、ブロック1個に連結金具1個を使用します。
- ()内は1:0.3レベル積みの場合の数値です。



■標準平面断面図



■参考歩掛り

(10.0m²当り)

呼称	単位	数量	備考
一般世話役	人	0.09	
ブロック工	人	0.36	
特殊作業員	人	0.18	
普通作業員	人	0.18	
ラフレーンクレーン	日	0.18	油圧式25t吊り
諸雑費	%	4	労務費×4%

●協会歩掛り

ネクストーン〈環境保全型ブロック〉

DL NETIS掲載終了
CB-980078-V

●特長

1.土圧や流体力に対する安定性も十分確保

法勾配が1:0.3～1:0.6程度に適応し、コンクリート積みブロック以上の控長(410mm)とほぼ同等の壁体重量を有するため、土圧に対する安定性、流体力に対する安定性は十分に確保されます。適用流速:0～8.0m/sです。

2.草木の繁茂で昆虫等の生息場を提供

壁体内部に中詰めされた土砂と、ブロック一段ごとに設けられる溝部に覆土した土砂により、草木が繁茂できる場、ホタル・昆虫等の生息できる場が提供できます。また、水面から下は、水生生物の生息巣孔にもなり、生態系を保護します。

3.小動物の生息にもやさしい

一段195mmごとに形成される溝部平場100mm(ずらさない場合60mm)により、小動物が法面を自由に上り下りしたり、往来したりできます。また、平場からの草木の成長により、コンクリートの見えない護岸になります。

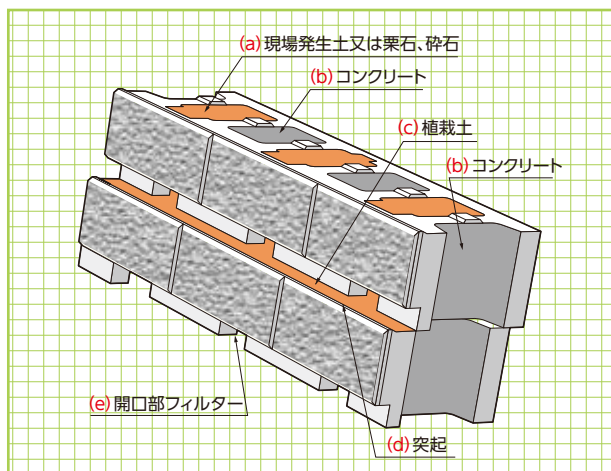
平均明度
※4.5/5.5
輝度の標準偏差
31
※製造工場によって異なります。



ご注意:製品表面の仕上げは製造方法の違いにより、
本カタログの写真と異なる場合がありますのでご了承ください。

構造概要

ブロックを右図に示すように組積みし、壁体内部に形成されるブロック中空部(a)に植栽土を、また、ブロック相互の中空部(b)にコンクリートを充填します。
上段にくるブロックを50mmずらして積むことにより形成される平場(c)に植栽土を盛ります。
(c)部に盛られた植栽土は、突起(d)により流失が防げます。また、開口(e)部には中詰め土砂の流失を防ぐため、フィルター等をセットします。



標準施工断面図

■胴込材の選定例

1.河川に使用する場合

常時水中にある部分及び流水の影響を受ける部分までは、割り栗石または砕石を使用します。

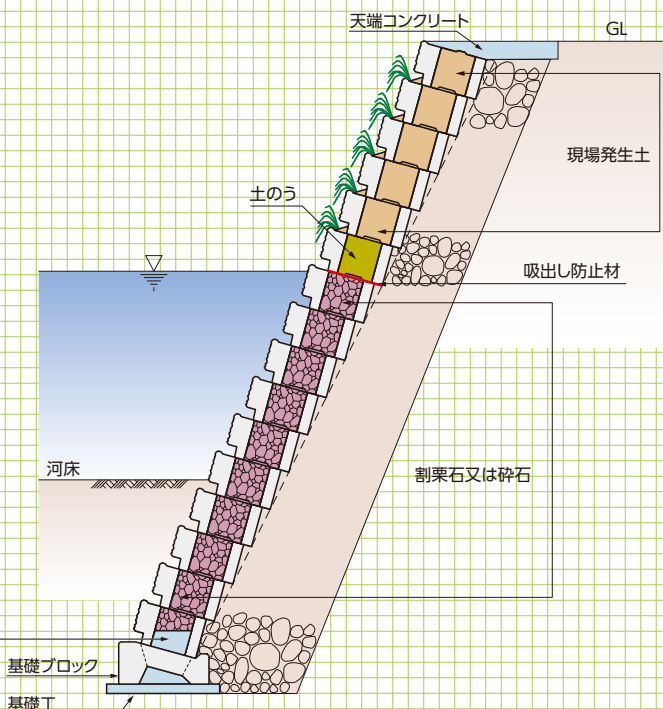
2.道路・公園等を使用する場合

植生効果を促進する必要がある場合には、すべて植生土を使用します。植生土は現場発生土を使用することも可能です。

■安定検討について

ネクストーンは、1m²当たりの壁体重量が控長35cmのコンクリート積みブロックとほぼ同等のため、設計はブロック積擁壁に準じて行います。そのため、直高5m以下での安定検討は特に必要ありませんが、御希望の場合は検討書を作成いたします。参考文献:「農林水産省土地改良事業標準設計第9編擁壁」ブロック積擁壁の安定計算(示力線法による)

※最下段ブロックには、基礎工との一体化を図るため胴込め材を入れる部分にも、コンクリートを半分の高さ程度充填してください。



基本形状図
I型・II型

形状・寸法
重量

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

基礎
ブロック

形状・寸法
重量

貯水槽関連

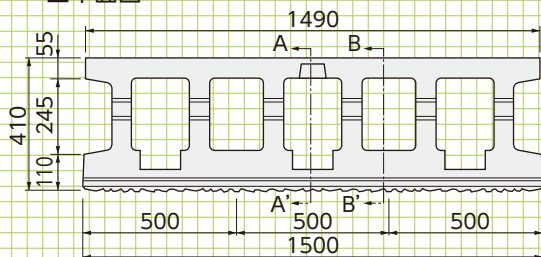
組合製品・その他

景観関連

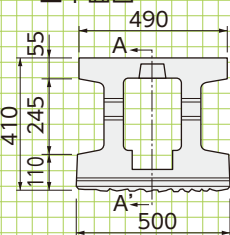
I 型 参考重量:180kg

II 型 参考重量:56kg

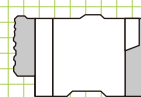
■平面図



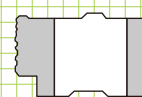
■平面図



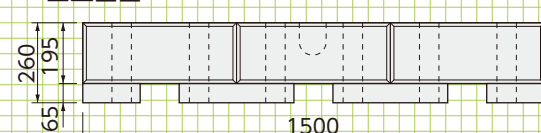
■A-A'



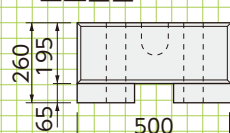
■B-B'



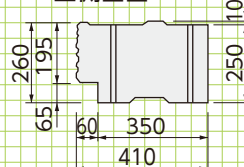
■正面図



■正面図



■側面図

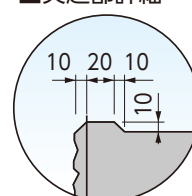


■規格諸元

呼 称	主要寸法 高さ×幅×控長 (mm)	体 積 (m ³ /個)	参考重量 (kg/個)	胴込め 土砂量 (m ³ /m ²)	胴込め コンクリート量 (m ³ /m ²)	使用個数 (個/m ²)
I 型	250×1500×410	0.07237	180.0	0.1011	0.0795	2.667
II 型	250× 500×410	0.02394	56.0	0.1032	0.0848	8.0

ご注意:製造方法の違いにより、寸法の一部および重量が本カタログと異なる場合がありますのでご了承ください。

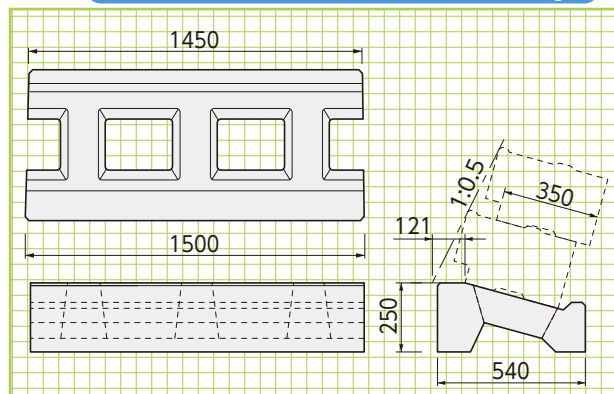
■突起部詳細



専用の5分勾配用基礎ブロック(ずらし積、直積)を用意してあります。

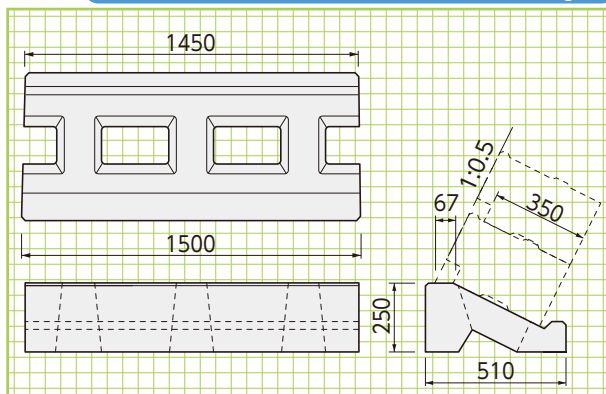
基礎ブロックA型(5分勾配ずらし積)

中詰めコンクリート0.4m³/10m 参考重量=230kg



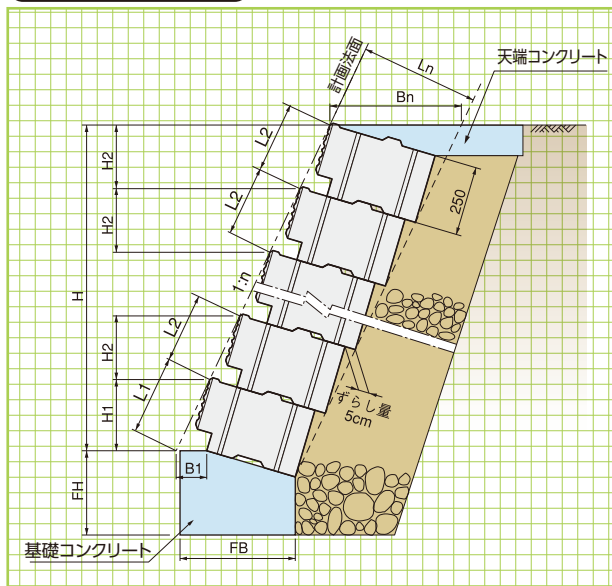
基礎ブロックB型(5分勾配直積)

中詰めコンクリート0.25m³/10m 参考重量=205kg

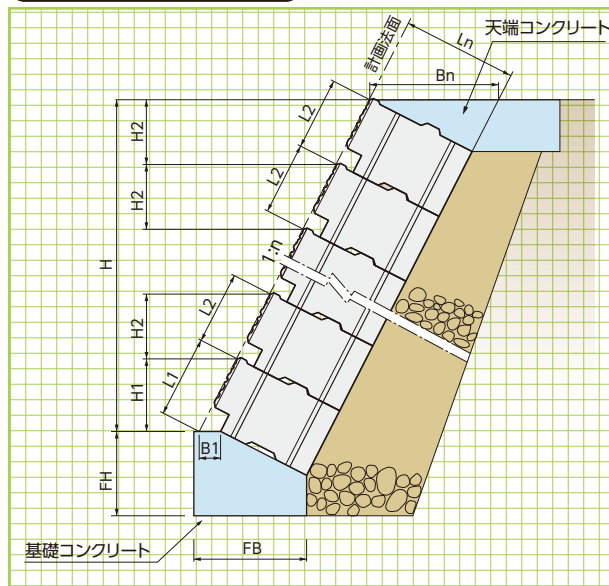


基本敷設
寸法図
(I、II型共通)

ずらして積んだ場合



ずらさないで積んだ場合



■1段当たり敷設寸法(ずらした場合)

(単位: mm)

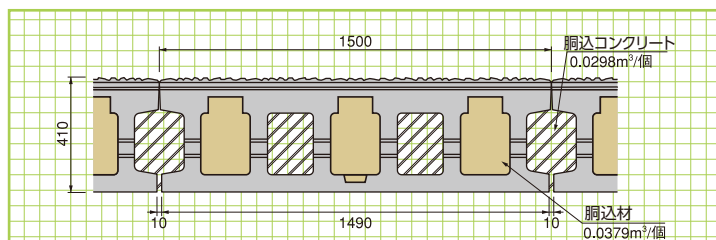
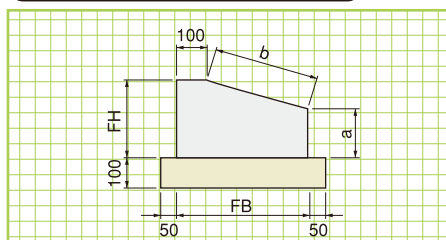
法勾配	1段目(根石工)			2段目以上			仮想最大控長
	H1	L1	B1	H2	L2	Ln	
1:0.3	255	266	113	244	255	451	471
1:0.4	257	277	116	237	255	451	486
1:0.5	257	287	121	228	255	451	504
1:0.6	256	298	126	219	255	451	526

■1段当たり敷設寸法(ずらさない場合)

(単位: mm)

法勾配	1段目(根石工)			2段目以上			仮想最大控長
	H1	L1	B1	H2	L2	Ln	
1:0.3	257	268	63	239	250	410	428
1:0.4	254	274	65	232	250	410	442
1:0.5	250	280	67	224	250	410	458
1:0.6	245	286	70	214	250	410	478

標準基礎工寸法図(I、II型共通)



■基礎工寸法・材料表(ずらして積んだ場合)

法勾配	裏コン厚 (mm)	基礎寸法(mm)				延長10m当たり		
		FH	FB	a	b	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	基礎材 (m²)
1:0.3	無し	250	448	217	350	1.06	4.67	5.48
	100	300	448	267	350	1.29	5.67	5.48
1:0.4	無し	250	550	258	452	1.56	5.58	6.50
	100	300	544	236	350	1.22	5.36	5.44
1:0.5	無し	250	438	158	350	0.94	4.08	5.38
	100	300	438	208	350	1.16	5.08	5.38
1:0.6	無し	250	536	181	452	1.35	4.81	6.36
	100	300	585	218	503	1.73	5.68	6.85
1:0.6	無し	250	430	132	350	0.88	3.82	5.30
	100	300	430	182	350	1.10	4.82	5.30
1:0.6	無し	250	526	148	452	1.25	4.48	6.26
	100	300	574	181	503	1.61	5.31	6.74

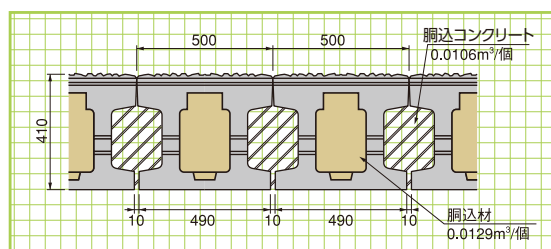
※ずらさないで積んだ場合の基礎工寸法・数量は、通常のコンクリート積みブロックに準じます。
※基礎高(FH)、基礎材の有無、岩着時の基礎形状等は、発注自治体の標準設計に習ってください。
(基本的には、FH=250を標準とします。)

ご注意:製造方法の違いにより、寸法の一部および重量が本カタログと異なる場合がありますので
ご了承ください。

■本体工数量算出式

区分	単位	計算式
施工直高(H)	m	$H1 + (N-1) \times H2$
施工法長(L)	m	$L1 + (N-1) \times L2$
施工面積	m²	$0.375 (\text{m}^2/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込土砂	m³	$0.0379 (\text{m}^3/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込コンクリート	m³	$0.0298 (\text{m}^3/\text{個}) \times M (\text{個})$

N:ブロック積み段数(段) M:ブロック使用数量(個)



■本体工数量算出式

区分	単位	計算式
施工直高(H)	m	$H1 + (N-1) \times H2$
施工法長(L)	m	$L1 + (N-1) \times L2$
施工面積	m²	$0.125 (\text{m}^2/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込土砂	m³	$0.0129 (\text{m}^3/\text{個}) \times M (\text{個})$
胴込コンクリート	m³	$0.0106 (\text{m}^3/\text{個}) \times M (\text{個})$

N:ブロック積み段数(段) M:ブロック使用数量(個)

ネイレール〈河川根入れブロック〉

NETIS登録
QS-190055-A

意匠登録第1607733号
特許第6984877号



護岸の根入れ部分をプレキャスト化

平均明度
6.0

輝度の標準偏差
26

●特長

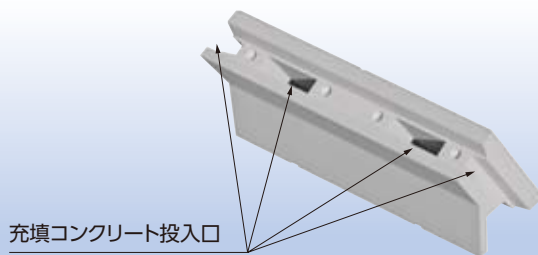
1.施工期間の短縮

根入れ部分を代替するブロックのため、施工期間が大幅に短縮できます。したがって、仮締め切り期間が短く濁水の処理問題を回避し、河川の生態環境へのダメージが少なくなります。

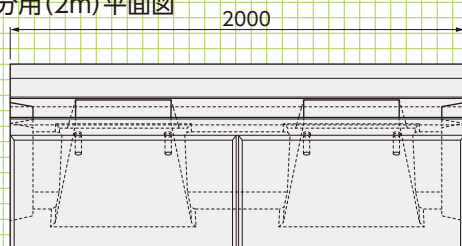
2.表面は景観に配慮した模様となっています。

3.鋼矢板を使用する基礎工にも対応できます。

4.充填コンクリートにより隣接するブロックの一体化が図れます。



■5分用(2m)平面図



5分用(2m) 参考重量:1300kg

2割用(2m) 参考重量:1270kg

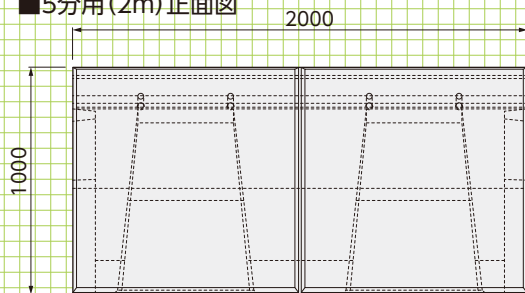
5分用(1m) 参考重量:620kg

2割用(1m) 参考重量:600kg

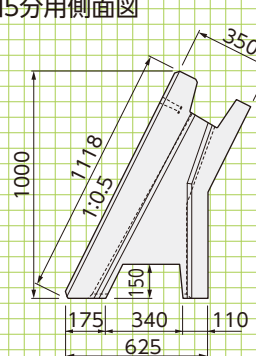
中詰めコンクリート:1.55m³(10m当り)

中詰めコンクリート:1.35m³(10m当り)

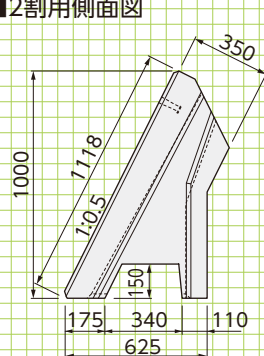
■5分用(2m)正面図



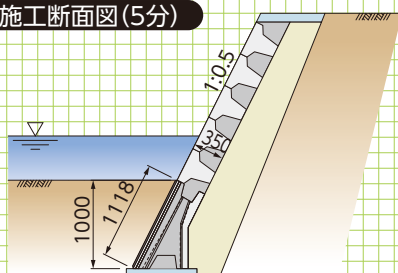
■5分用側面図



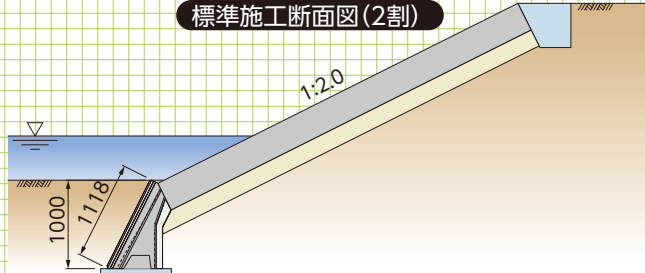
■2割用側面図



標準施工断面図(5分)



標準施工断面図(2割)



基本形状図

形状・寸法
重量表

施工断面図

サイドブロック〈プレキャスト小口止ブロック〉

DL
download

NETIS登録
QS-140005-VE

特許登録第6151929号

平均明度
※6.0

輝度の標準偏差
30

※ハツリ模様に限る。

小口止め工をプレキャスト化
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

●特長

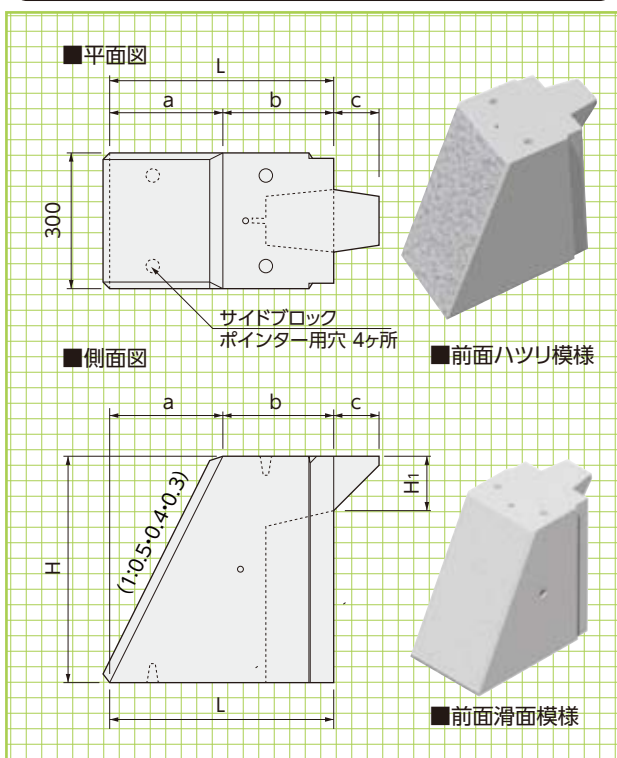
- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。



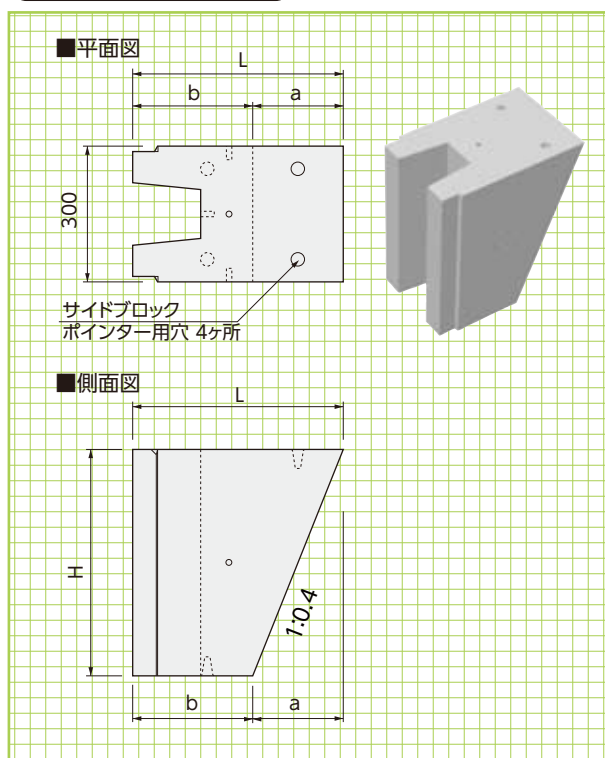
基本形状図

形状・寸法
重量

前面用ブロック、4分用ブロック、3分用ブロック



背面用ブロック



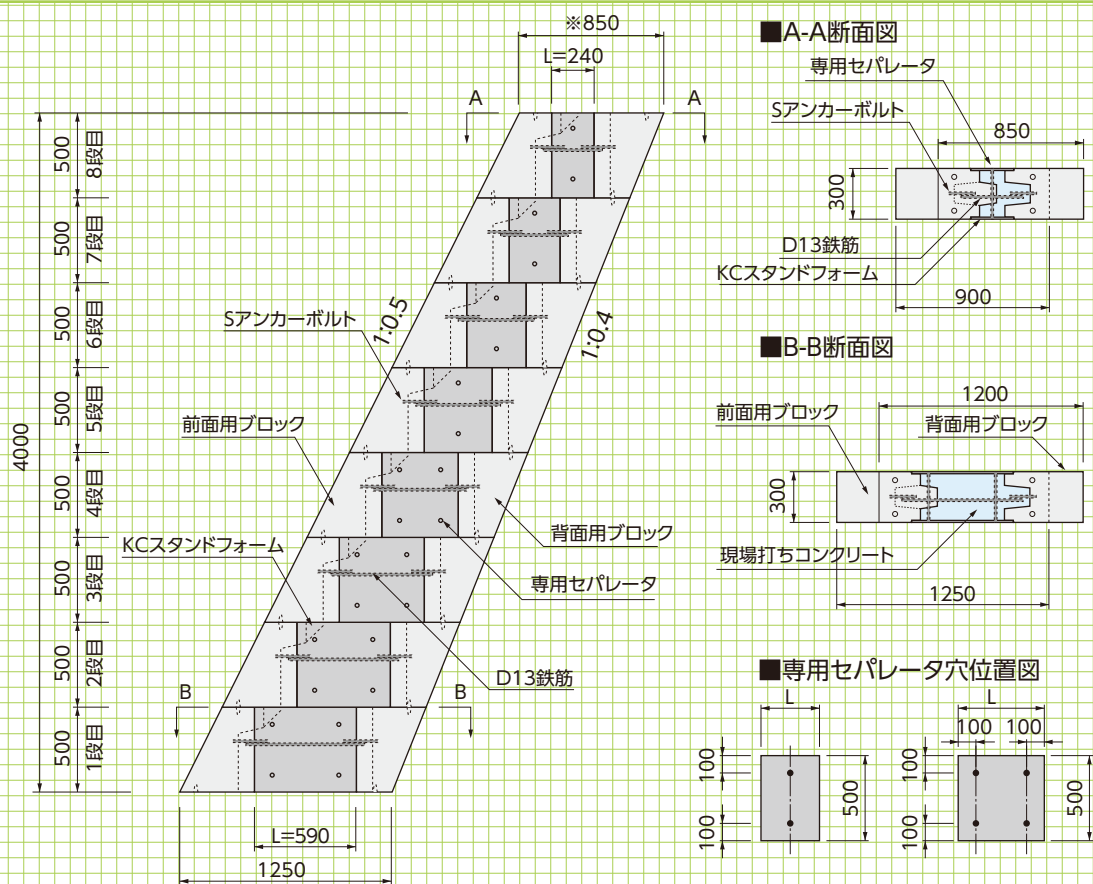
■寸法・重量表

呼 称	寸 法 (mm)						参考重量 (kg)
	L	a	b	c	H	H ₁	
3分用	485	150	335	100	500	120	130
4分用	485	200	285	100	500	120	121
前面用(5分)	485	250	235	100	500	120	113
背面用(4分)	465	200	265	—	500	—	103

※3分用ブロックは反転して背面用としても使用できます。

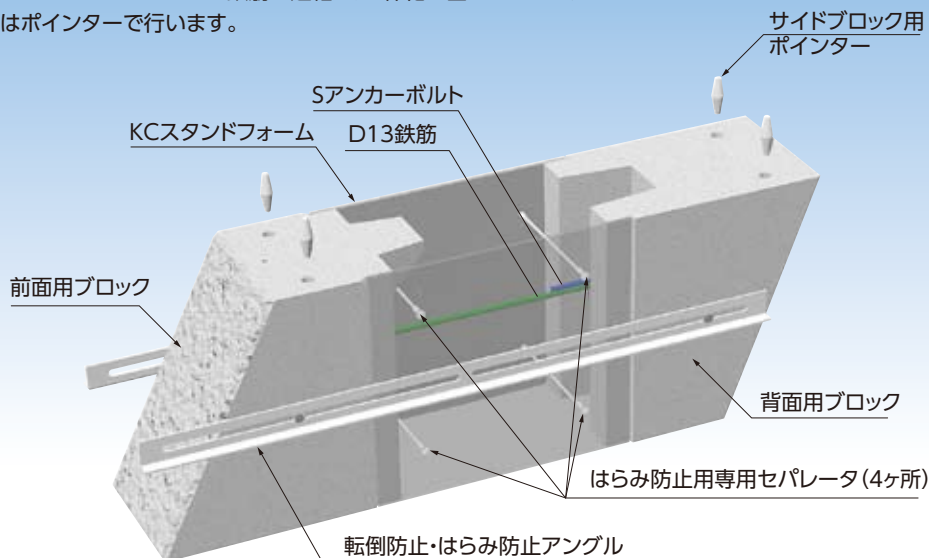
標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- ・専用セパレータ穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
- ・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないようにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



標準施工断面図

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

貯水槽関連

構造図

組合製品・その他

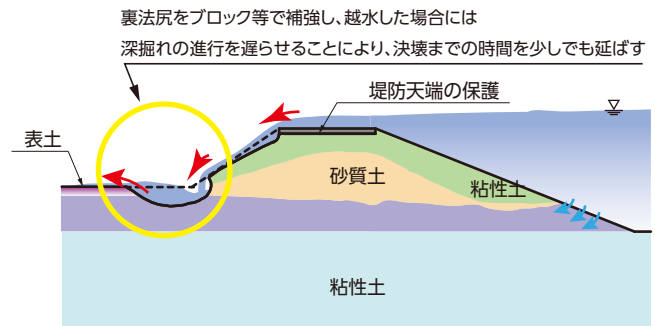
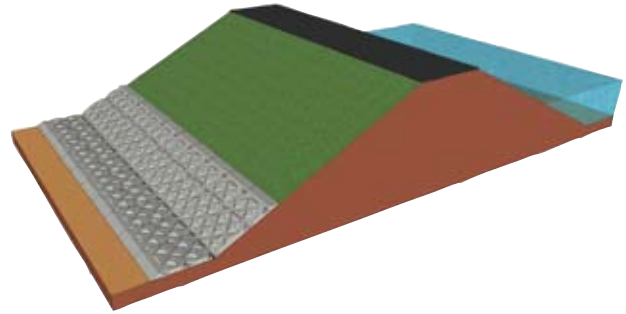
景観関連

テトラック法尻ブロック〈危機管理型ハード対策「法尻の補強」〉

NETIS登録
SK-170003-A

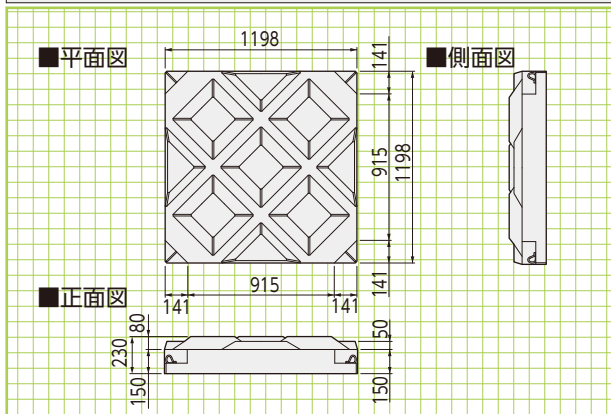
●特長

- 1.土堤防上に設置する場合、突起部以外を堤防内に設置する場合、また用地境界の位置に対応した断面が可能でです。
- 2.垂鉛-アルミニウム合金メッキ鉄線(φ8mm)により法面および平場部を格子状に連結させることで、フレキシブルな群体構造としております。
- 3.上端部および平場部端部にすり付ブロックを使用することで、越流水による上端部の堤防侵食を低減し、平場部端部の流水作用による鉛直方向の侵食を抑えることができます。
- 4.透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{ cm/s}$ 以上のポーラスコンクリートであるため、雨水や浸透水の滞留を防ぐことができ、碎石層および水抜き穴は必要ありません。
- 5.堤防法尻基礎ブロックやすり付ブロックを使用することで、現場打ちコンクリート打設が不要となり、延長方向に進みながら施工が可能で工期が短縮できます。
- 6.表面は菱形突起(8cm・5cm)とし、越流水の流速を低減することができます。

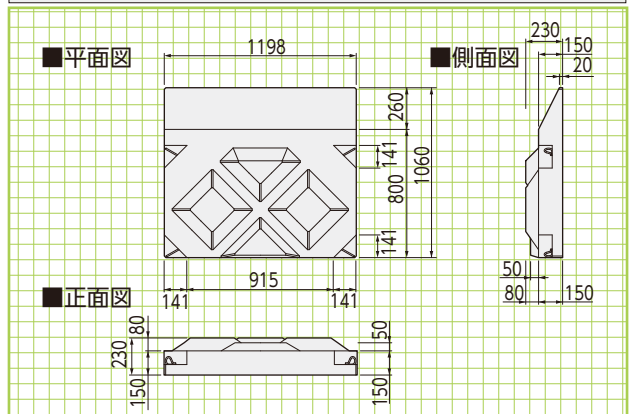


基本形状図

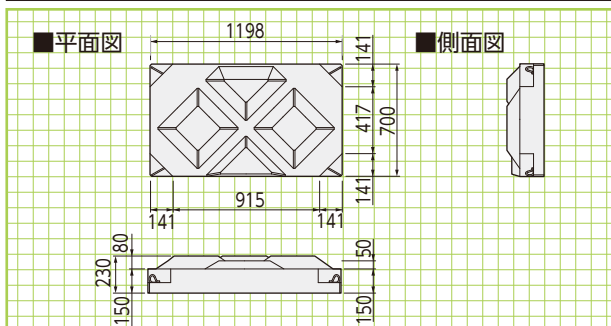
標準ブロック(コンクリート体積:0.253m³ 参考重量:506kg)



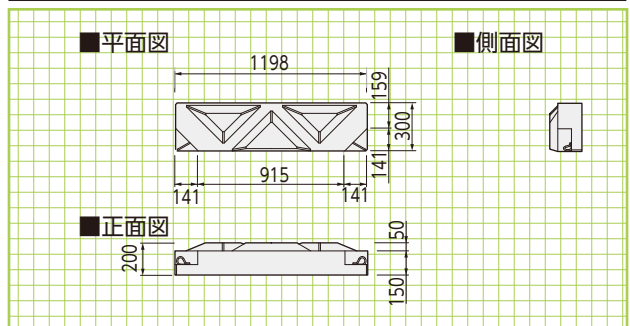
すり付けブロック(コンクリート体積:0.187m³ 参考重量:374kg)



平場Aブロック(コンクリート体積:0.142m³ 参考重量:284kg)

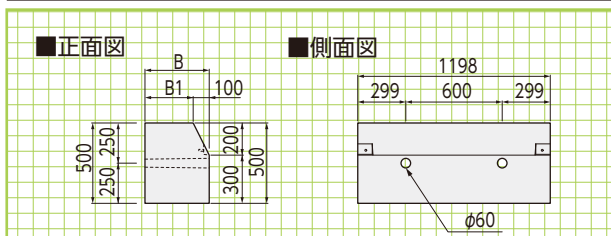


平場Bブロック(コンクリート体積:0.058m³ 参考重量:116kg)



基本形状図

基礎ブロック

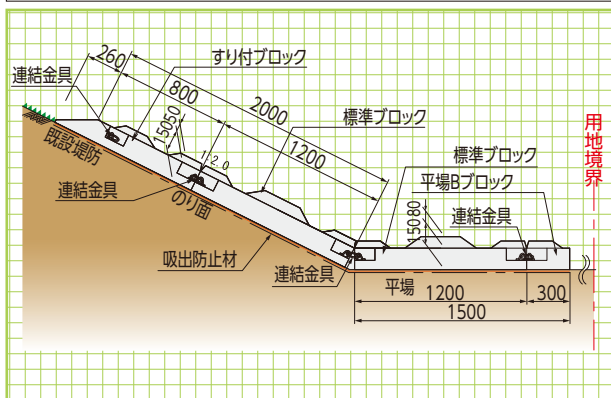


■寸法・重量表

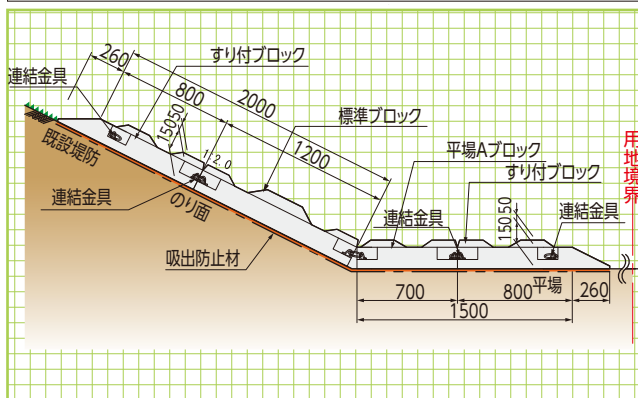
呼称	寸法(mm)		体積(m ³)	参考重量(kg)
	B	B1		
400型	400	300	0.225	483
500型	500	400	0.285	612

堤防上に設置

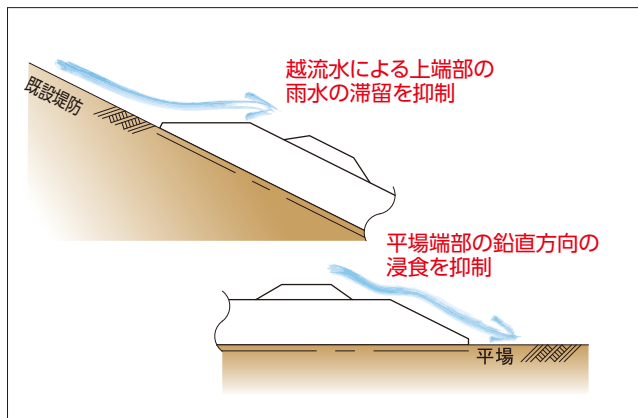
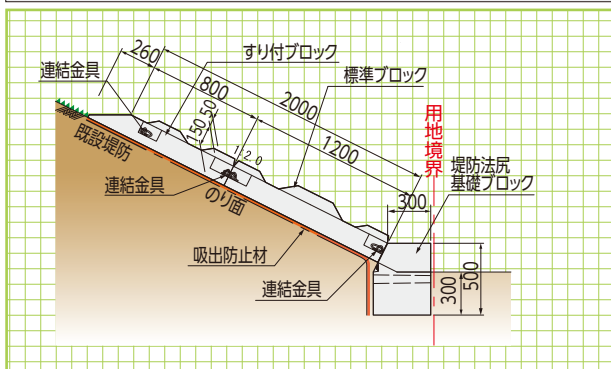
平場が1.5m以上の場合(平場すり付なし)



平場が1.5m以上の場合(平場すり付有り)

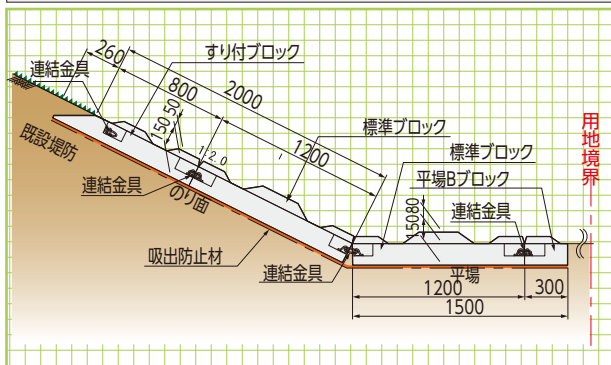


平場が確保できない場合

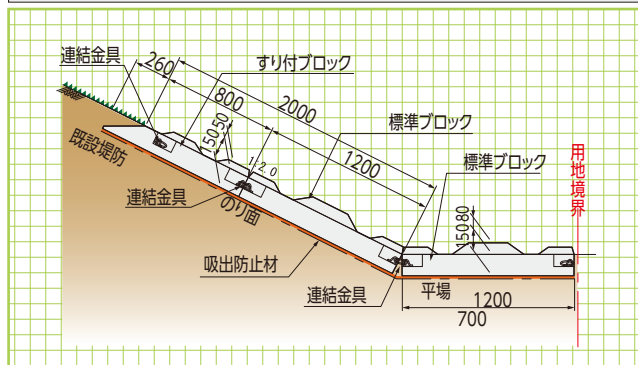


突起部以外を堤防内に設置

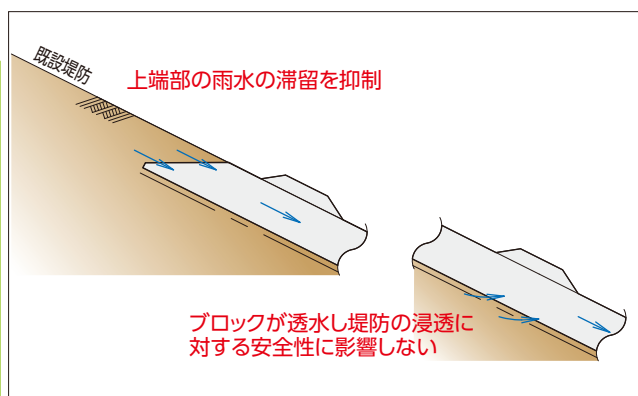
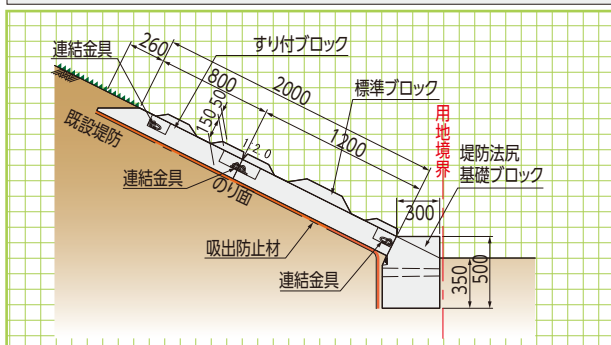
平場が1.5m以上の場合



平場が1.5m以下の場合



平場が確保できない場合



テトラックPG〈河川緑化護岸ブロック工法〉

NETIS掲載終了
SK-980031-V

●特長

1.透水性に優れ、植物の根系が生育しやすい

RC部は植栽穴の保護、連結穴の強化を目的とし、PEC部は透水・通気性向上、根の成長、微生物の育成を目的としています。

2.対応勾配は、1:1.0～3.0程度です

3.根茎の伸長による、地盤との一体化が図れる

植栽により根茎が容易に背面内地山まで伸長し、その地域に合った自然を創出します。

4.植栽面積は、ブロック1個(1m²)当たり0.5m²です

■用途

- 1.河川低水護岸保護工
- 2.河川高水敷保護工
- 3.河川高水護岸保護工
- 4.道路法面工
- 5.河川多自然保護法工
- 6.景観池・湖沼・沼沢
- 7.碎石跡地緑化工
- 8.公園



■数量表

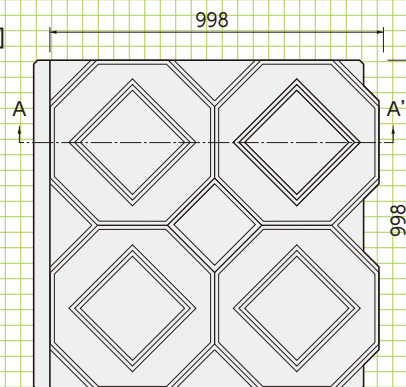
規格	Ⅱ型	Ⅲ型
外形寸法 (mm)	998×998×220	998×998×160
厚さ (mm)	220	160
ブロック体積 (m ³)	0.186	0.127
連続空隙率 (%)	18以上	18以上
参考質量 (kg)	344	235
設計基準強度 (N/mm ²)	18以上	18以上
客土 (m ³)	0.032	0.032

Ⅱ型



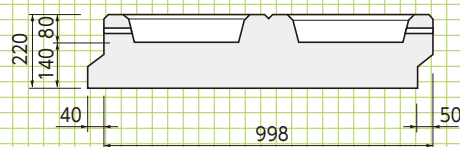
Ⅱ型・Ⅲ型

■平面図



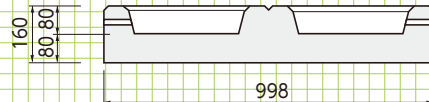
Ⅱ型 参考重量:344kg

■A-A'断面図(Ⅱ型)



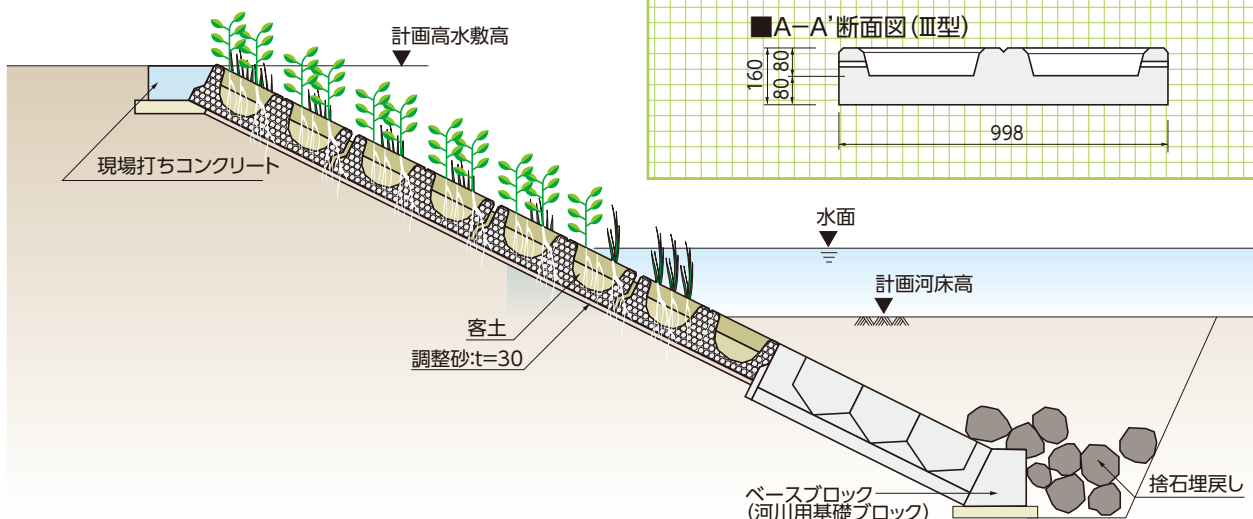
Ⅲ型 参考重量:235kg

■A-A'断面図(Ⅲ型)



基本形状図

標準敷設図



IFパラペット〈プレキャストL型パラペットブロック〉

河川堤防などに用いられる特殊堤(胸壁)として設置することができます。

●特長

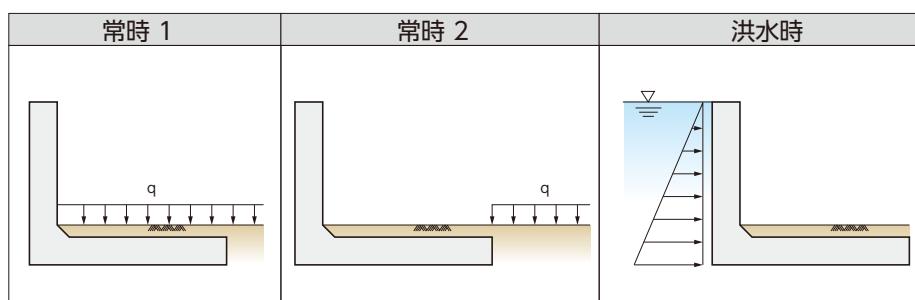
- 1.堤防の天端に設置することで洪水対策が図れます。
- 2.型枠の組立、撤去、コンクリート打設、養生作業が不要なため、大幅な工期短縮が図れます。
- 3.陸側で作業ができるため、施工の安全性が向上します。

※現場条件に合わせて設計いたします。
詳細については営業担当にお問い合わせください。

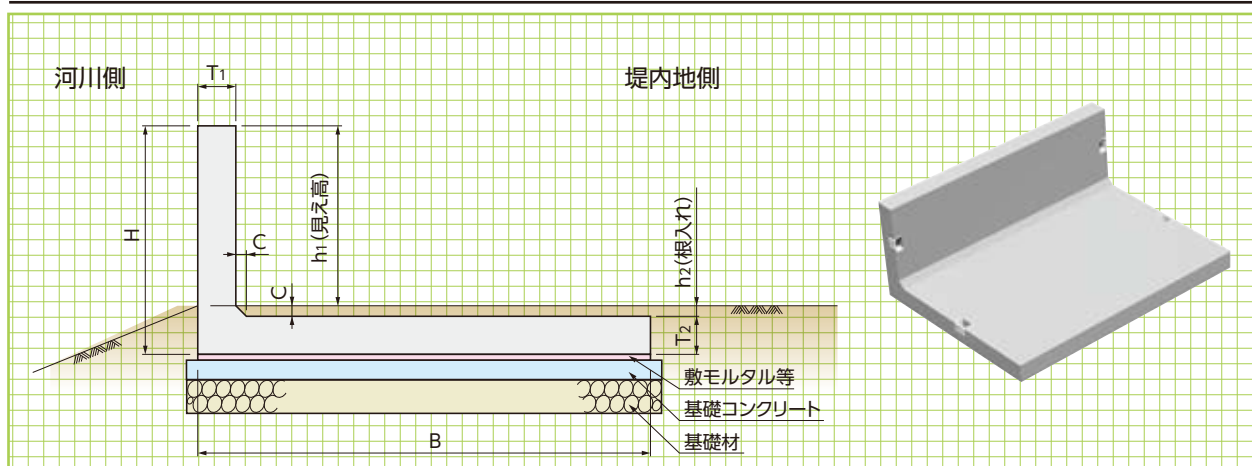


※参考イメージ

上載荷重 : $q = 10 \text{ kN/m}^2$
 単位体積重量 : $\gamma = 19 \text{ kN/m}^3$
 内部摩擦角 : $\phi = 30^\circ$
 摩擦係数 : $\mu = 0.6$



設計条件



基本形状図

■寸法・重量表

呼称 (H)	寸法(mm)							参考重量 (kg)
	h ₁	h ₂	B	T ₁	T ₂	C	L	
400	200	50	400	150	150	50	2000	474
450	250	50	500	150	150	50	2000	582
500	300	50	600	150	150	50	2000	690
550	350	50	700	150	150	50	2000	798
600	400	50	850	150	150	50	2000	942
650	450	50	1000	150	150	50	2000	1086
700	500	50	1150	150	150	50	2000	1230
750	550	50	1300	150	150	50	2000	1374
800	600	50	1500	150	150	50	2000	1554
850	650	50	1700	150	150	50	2000	1734
900	700	50	1900	150	150	50	2000	1914
950	750	50	2100	150	150	50	2000	2094
1000	800	50	2350	150	150	50	2000	2310

セレクトンW型

●特長

1.ブロックコーナー部をオリジナル金具により緊結するため、
堅固な法面保護が可能です。

■用途

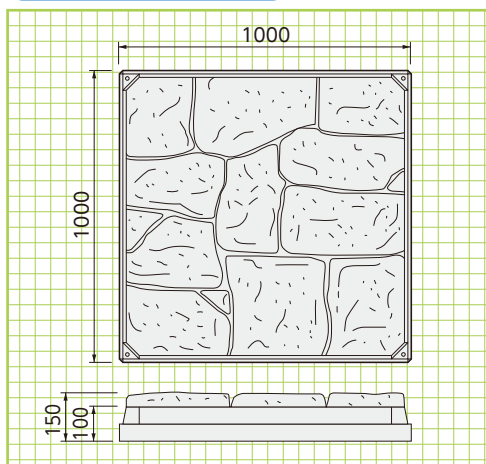
1.護岸・道路の緩斜面の法覆工



基本形状図

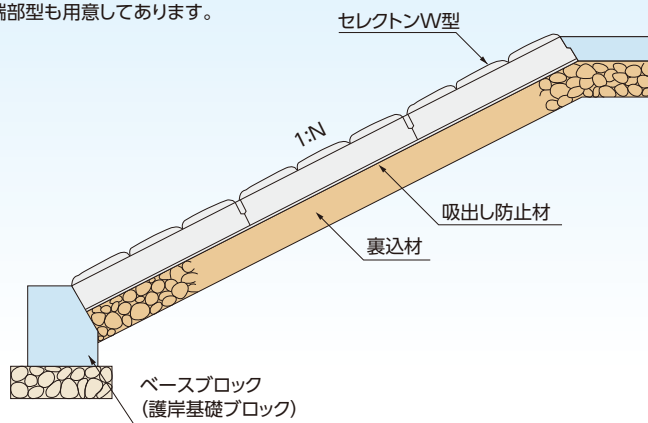
形状・寸法
重量

参考重量:割石タイプ=285kg



※一枚岩タイプもございます。(参考重量=300kg)

※端部型も用意しております。



※一枚岩タイプ

エルドレーン〈透水性堤脚保護ブロック〉

施工性・経済性にも優れた、生態系支援ポーラスコンクリートの大型ブロック。

●特長

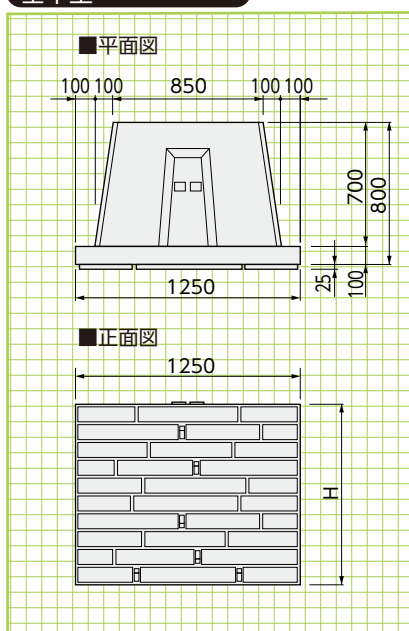
河川堤防強化工法において、ドレーン材の表面保護ブロックとして使用する透水性堤脚保護ブロックです。

表面がポーラスコンクリート(透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{cm/s}$)、控えが普通コンクリートで構成されたブロックで、ドレーン材厚、覆土厚に応じて1段積で0.6m～1.0m、2段積で1.2m～1.8mまで対応できます(土圧算定の背面土質をC1礫質土とした場合)。

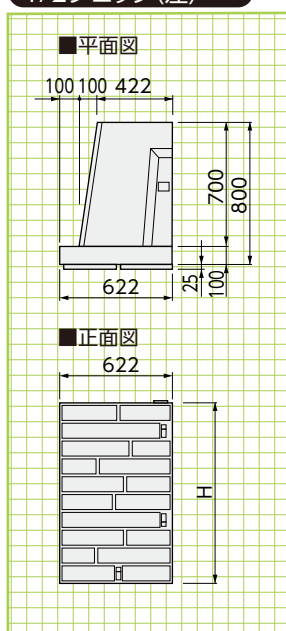
また、階段積みをすることで1.8m以上の擁壁として使用することが可能です。



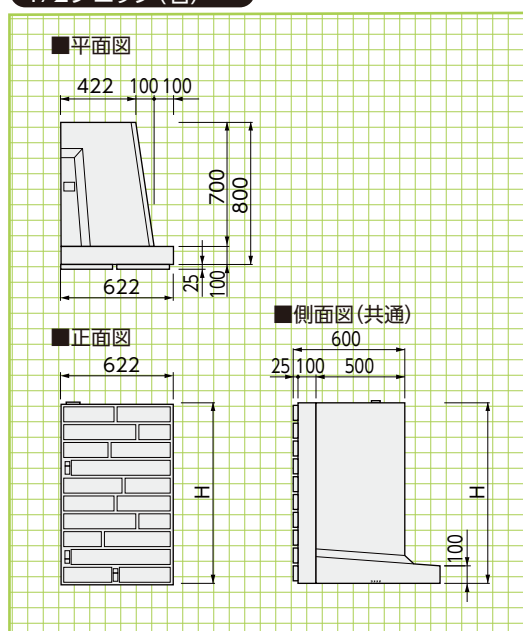
基本型



1/2ブロック(左)



1/2ブロック(右)



基本形状図

形状・寸法
重量

道路関連

河川関連

貯水槽関連

組合製品・その他

景観関連

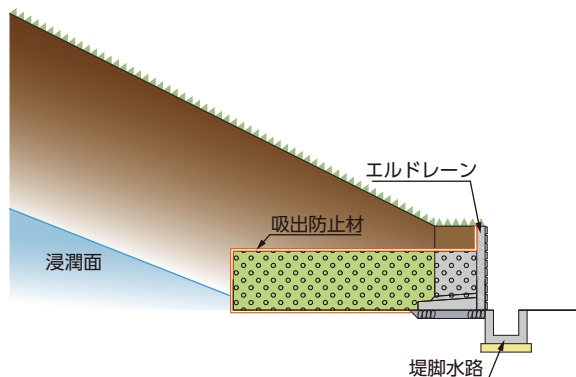
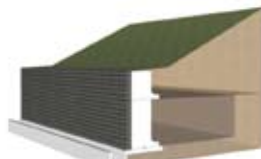
■寸法・重量表

呼称 H	参考重量 (kg)	
	基本型	1/2ブロック
H 600	476	231
H 700	528	257
H 800	581	284
H 900	634	310
H1000	687	337

1段積みイメージ図



2段積みイメージ図

標準施工
断面図

横帯ブロック〈横帯工用プレキャストブロック〉

NETIS掲載終了
QS-110005-VE

横帯工(のり覆工の延長方向の一定区間ごとに設け、護岸の変位・破損が他に波及しないように絶縁する)に使用する、プレキャストブロックです。

●特長

1.工期短縮

型枠の設置、撤去、養生期間が不要なため、生コンクリート打設後、次工程の作業が行えるので、養生による工程待ちの解消や工期短縮が可能です。

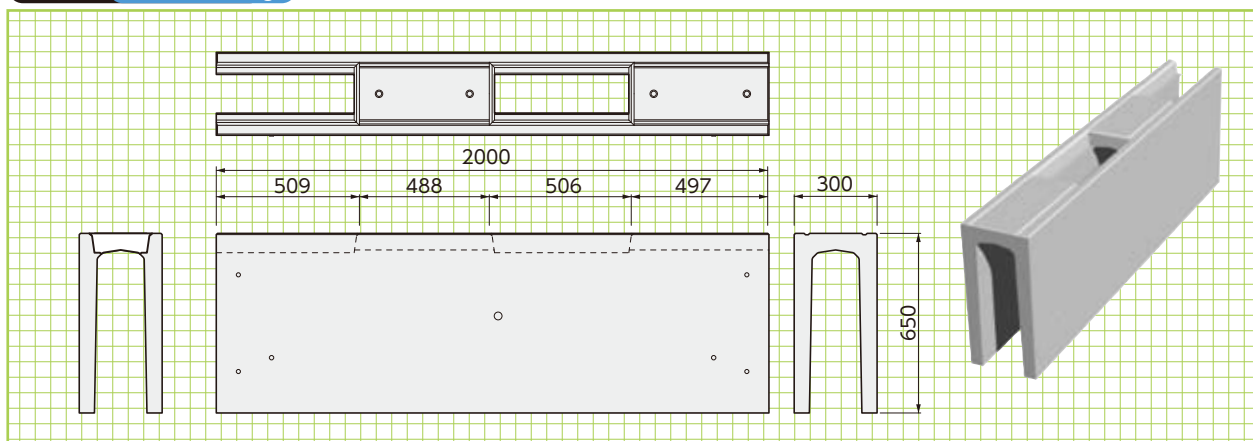
2.埋設型枠であり、生コンクリート打設時の型枠バレがありません。

3.型枠工などの熟練工を必要としません。

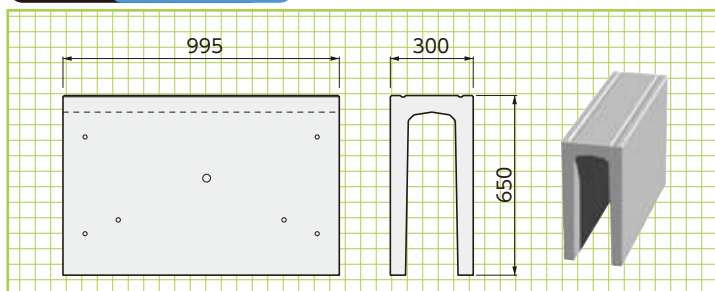
4.河川護岸法面部分のコテ仕上げ作業が不要です。



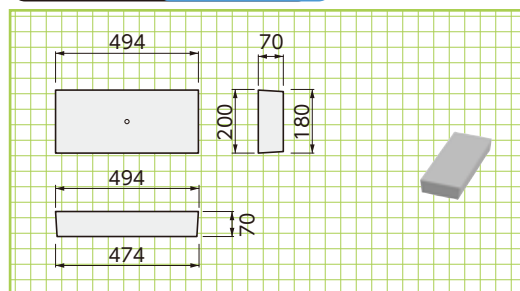
基本型 参考重量=400kg



端部型 参考重量=215kg



投入口蓋版 参考重量=15kg



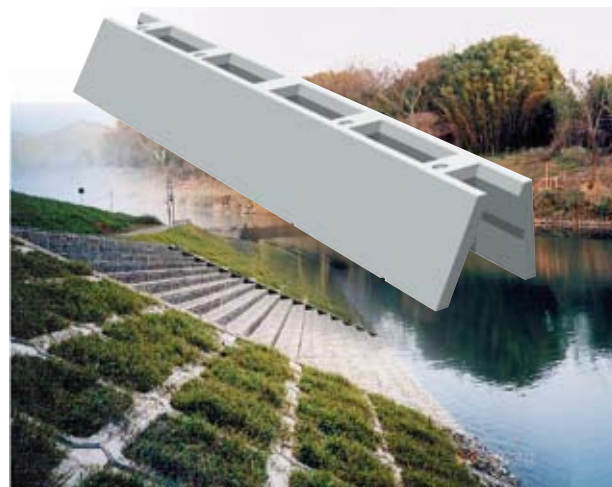
ベースブロック(九州タイプ)〈護岸基礎ブロック〉

DL
download
NETIS掲載終了
CB-990024-V

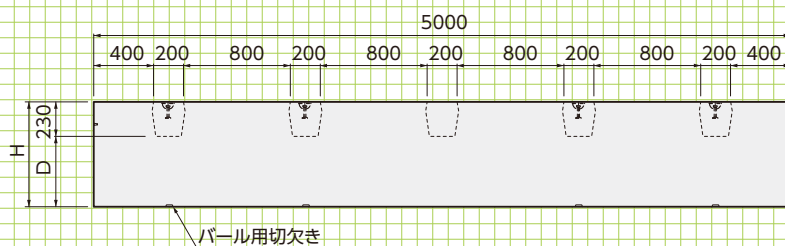
意匠登録第1324235号

●特長

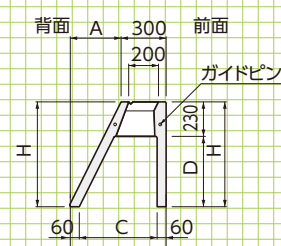
- 1.長尺製品(5.0m)のため、施工効率が大幅に改善されます。
- 2.型枠を必要とせず、中詰めコンクリートを打設することで一体化され、現場施工工期が大幅に短縮できます。
- 3.水替え工が節減できます。
- 4.中詰めコンクリート打設を容易にするため、コンパネ等を据える切り欠きを設けています。
- 5.ガイドピンを使用することで、施工効率向上と中詰めコンクリート打設時のブロックのズレを防ぎます。
- 6.カーブや端部処理用として、製品長2.0m及び1.0mを準備しています。
- 7.205型の製品高さ及び天端幅は、土木設計要領(九州地方整備局)に準拠しています。
- 8.歩掛りは、国土交通省土木工事積算基準に準拠しています。



■正面図



■断面図



基本形状図

形状・寸法
重量

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

貯水槽関連

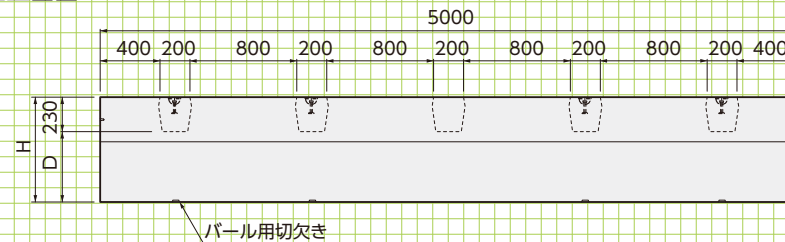
組合製品・その他

景観関連

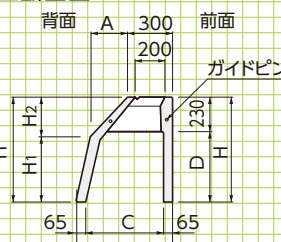
■寸法表(2割勾配用)

呼 称	寸 法 (mm)						参考重量(kg)			中詰めコンクリート (m ³ /m)
	H	A	B	C	D		5m	2m	1m	
205型	500	240	540	420	270		883	353	176	0.140
206型	600	290	590	470	370		1032	413	206	0.180
207型	700	340	640	520	470		1182	473	236	0.229

■正面図



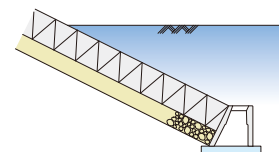
■断面図



■寸法表(1割5分勾配用)

呼 称	寸 法 (mm)							参考重量(kg)			中詰めコンクリート (m ³ /m)
	H	H ₁	H ₂	A	B	C	D	5m	2m	1m	
155型	500	76	424	282	590	460	270	945	380	190	0.149
156型	600	176	424	282	600	470	370	1095	440	220	0.196
157型	700	276	424	282	610	480	470	1245	500	250	0.243

■敷設例



■寸法表(1割勾配用)

呼 称	寸 法 (mm)							参考重量(kg)			中詰めコンクリート (m ³ /m)
	H	H ₁	H ₂	A	B	C	D	5m	2m	1m	
105型	500	217	283	283	595	465	270	975	390	195	0.168
106型	600	317	283	283	600	470	370	1125	450	225	0.238
107型	700	417	283	283	605	475	470	1275	510	255	0.340

スクエア〈河川根固めブロック〉

NNTD
0357

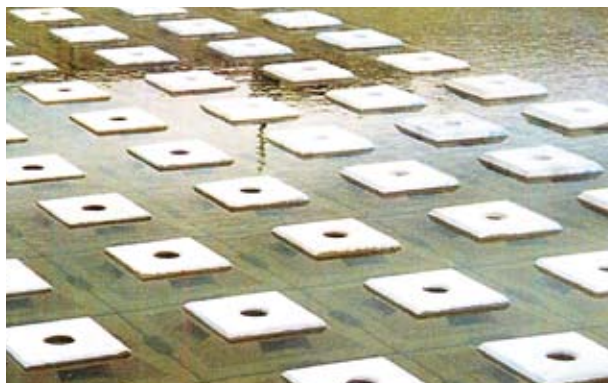
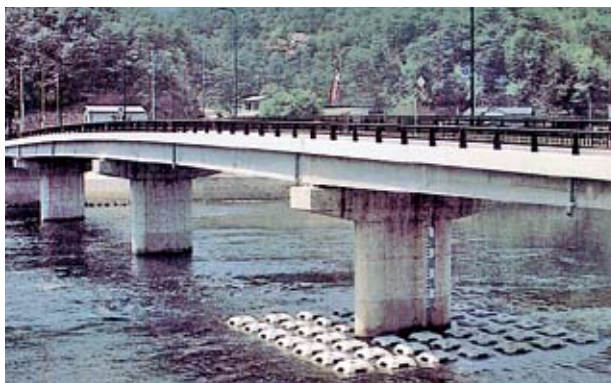
根固め工の機能に加え、ブロック内部の空間が魚の棲息空間となる魚巢機能を兼ね備えた「河川根固めブロック」です。

●特長

1. 水勢抑制効果と河床の洗掘防止効果に優れています。
2. 魚の生態系を保全する魚巢ブロックとしての役目も兼ね備えています。
3. 可とう性に優れた連結金具により連結されるので、河床の変動にもフレキシブルに対応できます。

■用途

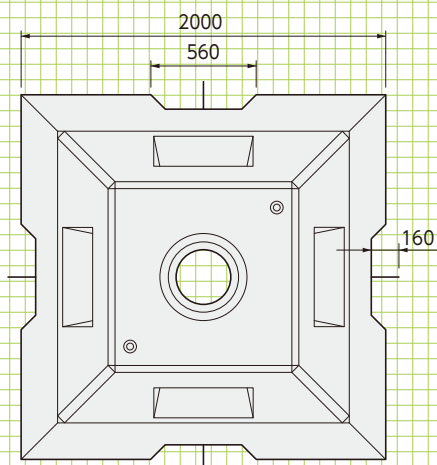
1. 河川の根固め工
2. 魚巢



基本形状図
2T型
参考歩掛り

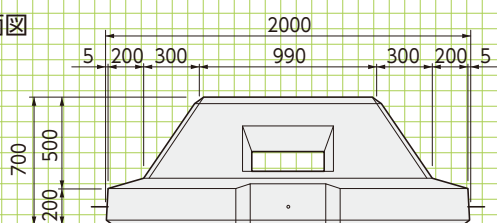
参考重量=2010kg

■平面図

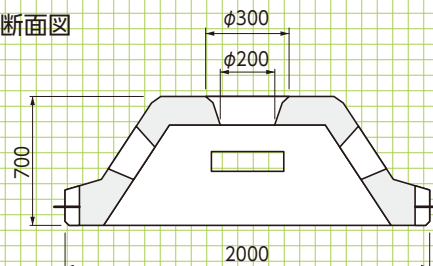


※製品同士はUボルト連結です。

■正面図



■断面図



ステイビーⅡ型〈階段ブロック〉

●特長

1. 踏み板表面の滑り止めは砂を考慮して凸部になっています。
2. 踏み板部の前面、及び脚部は、アーチ形状で柔らかみのある外観となっています。
3. 連結はカップルジョイント方式とし、強固で施工性の高い構造となっています。
4. ブロックの空洞部は、魚類や小動物にとって良好な生息空間を提供します。

■用途

1. 河川・公園・グラウンド施設の昇降用



300型・400型

参考重量=265(335)kg

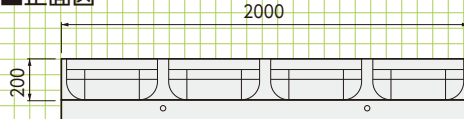
※()内は400型を示します。

基本形状図
300型
400型
標準敷設図形状・寸法
重量

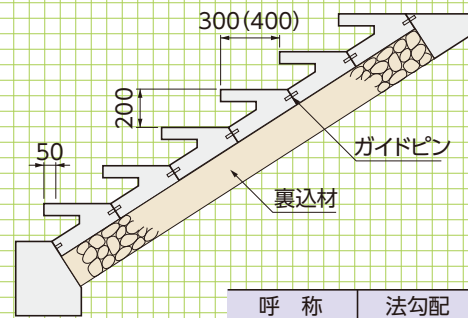
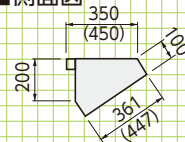
■平面図



■正面図



■側面図



呼 称	法勾配
300型	1:1.5
400型	1:2.0

※端部用L=1000もございます



PEC階段〈ノンスリップ・組み立て式階段ブロック〉

NEW

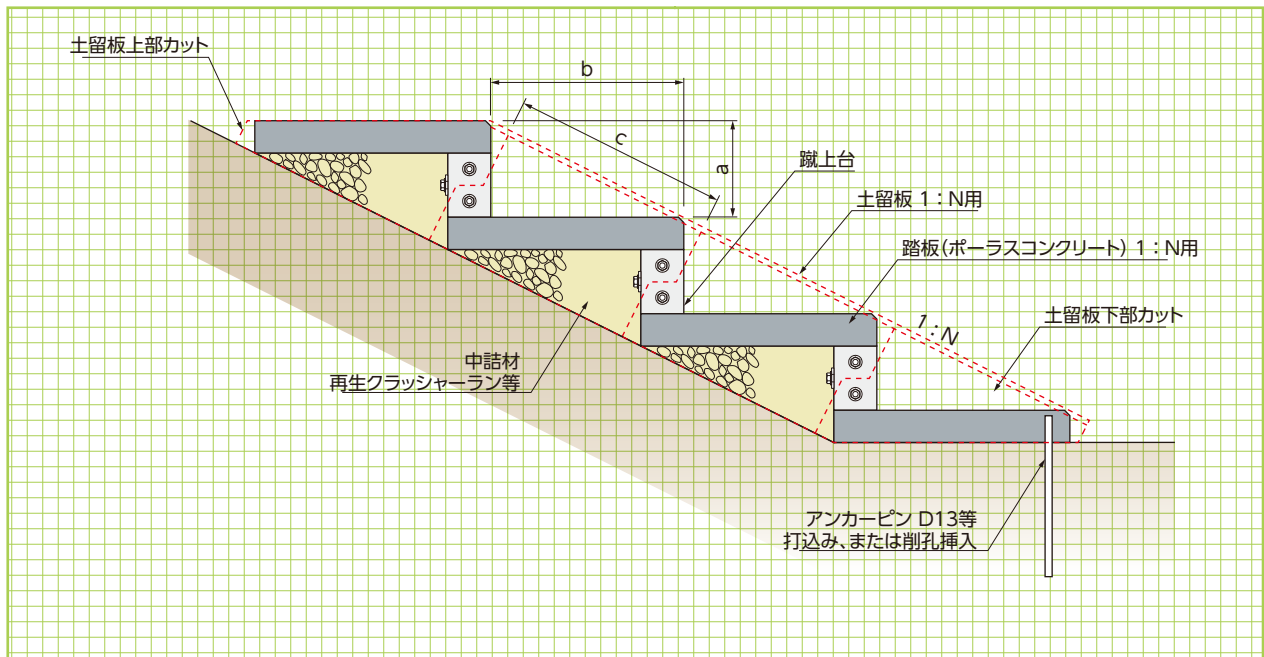
プレキャストコンクリート部材を組み立てて構築する階段ブロック

●特長

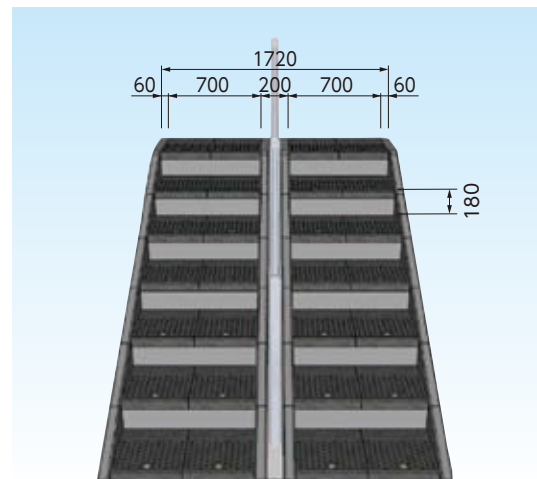
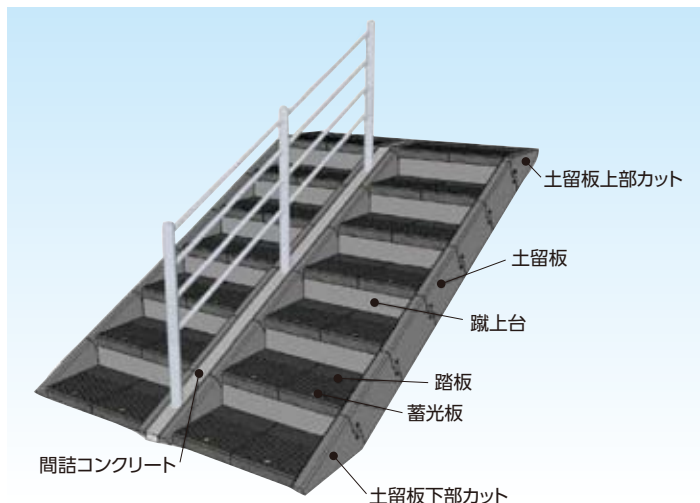
1. 踏板は7号砕石(2.5mm~5mm)のポーラスコンクリート製で透水性に優れ、かつ摩擦抵抗が大きくすべりにくいいため安全に昇降できます。また、踏板に設置する蓄光板で、夜間の視認性も高めています。
2. 部材は人力で組立が可能のため、重機が入れない場所での階段設置が可能です。
3. 勾配は1:2.5、1:2.0、1:1.5に対応し、階段幅は0.7m単位で調整できます。
4. 端面の土留板を型枠として、小口コンクリートや手摺り支柱の基礎コンクリートが打設できます。



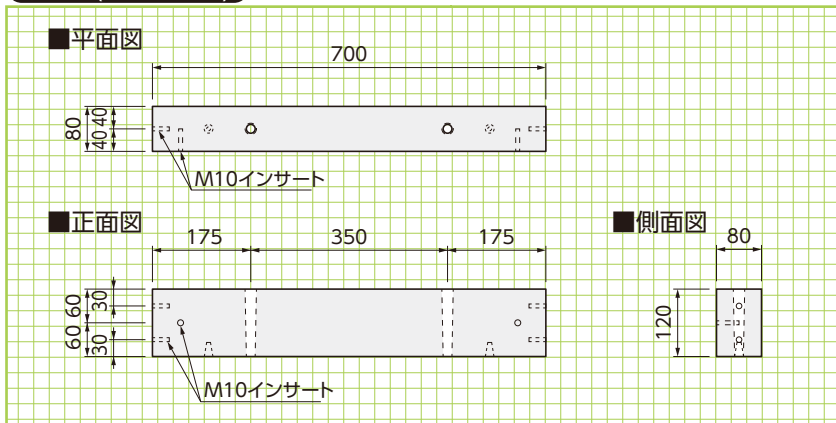
標準構造図



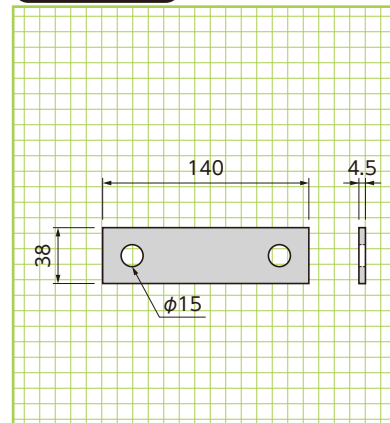
■2スパン(700×2) 中央手摺り設置例



蹴上台(全勾配共通)

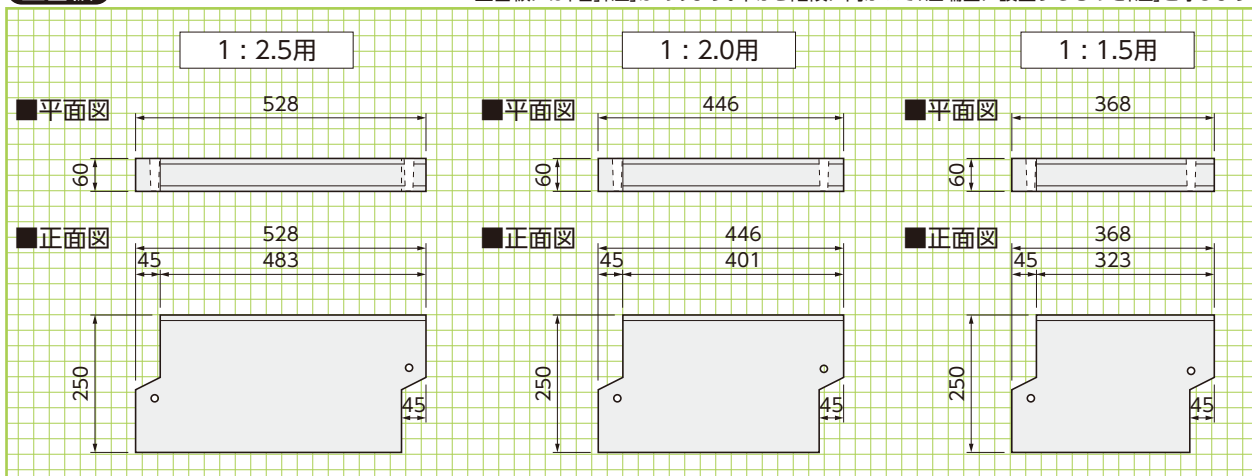


連結プレート

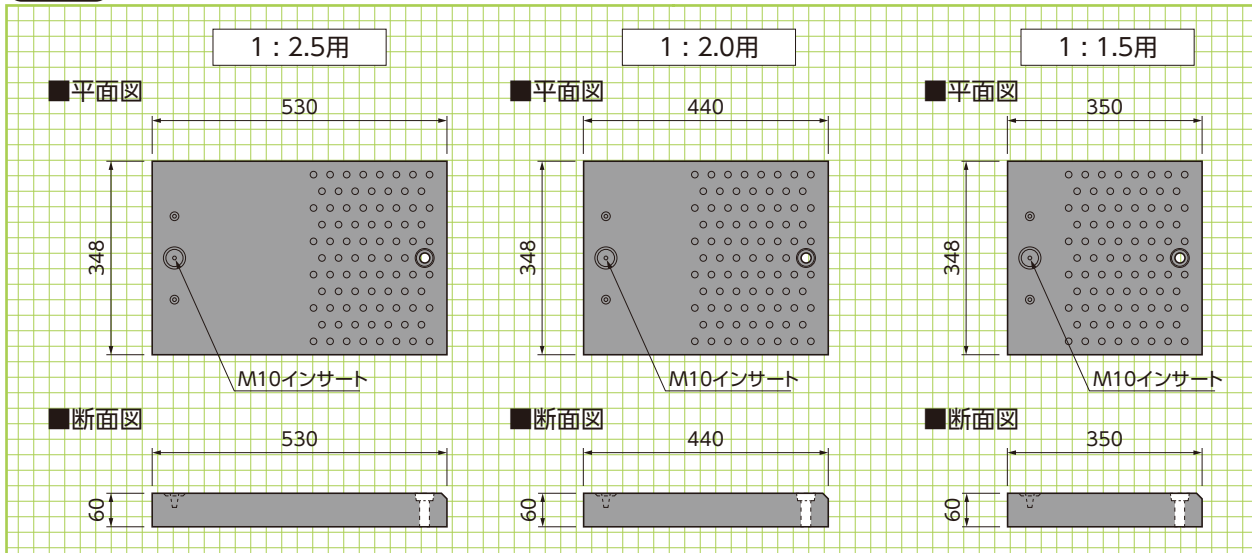


土留板

※土留板には「右」「左」があります。下から階段に向かって、左端面に設置するものを「左」と呼びます。



踏 板



■寸法・重量表

呼 称	寸 法 (mm)	参考重量 (kg)
蹴 上 台	80×120×700	16
土留板	1:2.5 60×250×483	17
	1:2.0 60×250×401	14
	1:1.5 60×250×323	11
踏 板	1:2.5 60×348×530	22
	1:2.0 60×348×440	18
	1:1.5 60×348×350	15

■施工部品

ボルト ナット 座金	ボルト M10×L=190mm	踏板-蹴上台-踏板 連結
	寸切りボルト M10×L=100mm	土留板-蹴上台, 土留板-土留板 連結
	高ナット M10×L=80mm	土留板-土留板 連結(手摺り支柱設置部)
	ボルト M10×L=25mm	蹴上台-蹴上台 横連結
	大座金 M10(ϕ =25mm, t=2mm)	—
	ナット M10	—
連結金具	プレート 140mm×38mm×t=4.5mm	蹴上台-蹴上台 横連結
ガイドピン	樹脂 40×15	踏板-蹴上台 位置決め
蓄光キャップ	$\phi 32$ mm×t=5mm, 接着剤	踏板 ボルト穴蓋